## 土壌、底質のダイオキシン類簡易測定法応募様式(機器分析法)

応募 機関	名称		
1灰(大)	代表者名		
	担当者	所属	
		役職	
		氏名	
		住所	〒
		TEL	
		FAX	
		E-mail	
	応募測に	 定方法との関	
	係		□ 当該測定法の開発者/機関から応募を依頼されたもの
	1710		(開発者/機関名:
			□ 測定分析機器を有するもの
			(開発者/機関名:
			□ その他( )
	環境省タ	「イオキシン類	□ 有(媒体: 、認定年度: 年度)
	環境測足	定調査受注資	□ 無
	格		
	特定計量	量証明事業者	□ 有(認定年月: 年 月)
	認定		□ 無
共同	名称		
応募			
機関	代表者名	2	
	担当者	所属	
		役職	
		氏名	
		住所	〒
		TEL	
		TEL	
		FAX	
		E-mail	
		定方法との関	
		づけについて	
	具体的に	記入下さい)	
	理性少点	ブノナナミハ 米石	│ │□ 有(媒体: 、認定年度: 年度)
	環境省ダイオキシ 環境測定調査受		│□ 有(媒体: 、認定年度: 年度) │□ 無
	<sup>現現別人</sup> 格	<b>C则且又</b> 只	
	特定計量証明事業		
認定		三世 77 千 八 日	
実施体		応募機関	□ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □
(作業分		共同応募機	□定量   □データ整理   □ その他( )
		関	
		10-7	

	名称(もしくは機種	
名)	t Nat	- Lucion - Natisfied Vicini
測定方法の分 (機器分析法		□ トリプルステージ型質量分析計 □ 飛行時間型質量分析計
(18% HB 7) 1/1 /24	・シャ主人民ノ	□ その他(
実用化の段階	皆	□ 市販されている、または受託実績がある。 □ 市販または受託準備中 (予定年月: ) □ 公定法との比較データが土壌、底質それぞれで 20 以上ある □ その他( )
測定方法 の概要	原理·内容	
	分析フロ一図	【土壌】
		【底質】
	測定定量する化 合物名称	
	注入方法	
	使用するカラム 名称	
	定量下限、検出下限及びそれらの設定方法	

毒性等量の算出方法		【土壌】							
			【底質】						
					1				
主な用途と 測定実績	媒体		用途			則定実績(	年	月~	年月)
<b>则</b> 化天ң	土壌				応募機関による測定 検体			他機関による測定 検体	
	工板				ľ	検体】		[	検体】
					•			•	
					[	検体】		[	検体】
【】内には						検体			検体
市販/受					[	検体】		[	検体】
託検体数を 記入					,	検体 ***		•	検体 ***
平均測定所要	 	媒体	*		+		 	虚	検体】
干均测定剂多	安中   月		<u>⊕</u> 検体数	1検	土壌 10 検体		1		
		全位			<u>件</u> 時間	時間	'	時間	時間
		<u> </u>	乾燥		) (H)	F1 [H]		E I I I I	F-1 [H]
		内	抽出						
			精製						
		訳	定量						
			データ						
			処理その他						
1段休ちたい	のでも別字典田	₩ Y	-			<u></u>		底質	 媒体
1 検体あたりの平均測定費用		媒体 分析検体数		1 検体		10 検体		<u>烬貝</u> │検体	10 検体
			<u> </u>	土壌		底質		<u> </u>	底質
			<u>·</u> 本	円		円		<u> </u>	円
			乾燥						
		内	抽出						
		訳	精製						
			定量						
			データ 処理						
			その他						
高分解能 GC/MS 法との相関			壌】						
性(グラフ、相関係数、評価に									
用いた試料の数、汚染原因等									
について)	について)								
		【底質】							
			. 只』						
ĺ		1							

特許•実施権等		出願•登録状況	□出願中(対象国: )
(特許の対象とならない場合			出願日 No.
は無記入)	特		□登録済(対象国: )
			登録日 No.
	許	特許権者/出願人	
		発明の名称	
		発明の概要	
		実施許諾者	
		実施権者	
		実施権の範囲	□製造権 □販売権 □卸販売権
			□使用権 □貸渡U権 □輸入権 □再
			実施許諾権 口その他( )
	実	態様	□ 独占的実施権 □非独占的実施権
		品質保証約定	□有( )
	施		□無
	14-	実施の時期・数量	実施権の有効期間:( )
	権	等	数量制限: 口有 口無
			地域制限: □有 □無
		ライセンス対価	
		実施権者の改良	
		発明の扱い	
		備考	
		再実施許諾者	
		再実施権者	
		再実施権の範囲	□製造権 □販売権 □卸販売権
	_		│□使用権 □貸渡し権 □輸入権 □再
	再	Ale LAE	実施許諾権 口その他( )
	-	態様	│ □ 独占的実施権 □非独占的実施権
	実	品質保証約定	│ □有( │ □無
	施	実施の時期・数量	再実施権の有効期間:
		等	( )
	権		数量制限: □有 □無
			地域制限: □有 □無
		ライセンス対価	
		再実施権者の改	
		良発明の扱い	
		備考	
	被	差別的かつ合理的	□可 □否 □不要
	条件	‡における実施許諾	
	の戸	<b>T</b> 否	
中立機関における実証試験の		-	
可否		条件付きで可	
		条件: -	)
/\ \( \frac{1}{2} \rightarrow	(	理由:	)
分析測定における留意事項			
(分析操作、精度管理、安全管 理等)			
理等)			

判明している課題	
備考、特記事項	

## <記入上の注意>

- 該当する□は、■に塗りつぶしてください。
- ・記入欄の大きさは適宜変更してください。